
2020年度第3四半期（4～12月）決算について

2021年1月28日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第3四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第3四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2020年度 連結業績見通し	．．．	4
□2020年度 連結業績見通しの修正概要	．．．	5
□2020年度 配当予想	．．．	6
□参考資料	．．．	7

■ 第3四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績 (累計)

(単位：億円)

	当第3四半期(A)	前第3四半期(B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	5,105	5,251	△ 145	△ 2.8
営業利益	287	160	127	79.5
経常利益	210	79	131	165.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	177	59	118	200.4
1株当たり四半期純利益	81円09銭	23円55銭	57円54銭	

財政状態

(単位：億円)

	当第3四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	19,953	19,590	363
純資産	2,640	2,473	166
自己資本比率	12.6%	12.0%	0.6%

■ 第3四半期 連結決算の概要

売上高 (減収)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響による増加はありましたが、 燃料価格の低下による燃料費調整制度の影響や新型コロナウイルス感染症の影響等による販売電力量の減少などにより、 前年同期に比べ145億円減少の5,105億円となりました。
経常利益 (増益)	新型コロナウイルス感染症の影響等による販売電力量の減少などはありましたが、 発電設備に係る修繕費の減少や燃料・資機材調達の効率化などによる費用低減に取り組んだことにより、 前年同期に比べ131億円増加の210億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	前年同期に比べ118億円増加の177億円となりました。

■ 2020年度 連結業績見通し

当期の業績につきましては、至近の収支動向を踏まえ、2020年10月28日に公表した業績予想を修正いたしました。

(単位：億円、億kWh)

	2020年度見通し			今回見通し 対前年度増減
	今回公表 (A)	10月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	7,190程度	7,020程度	170程度	△290程度
営業利益	390程度	290程度	100程度	△ 30程度
経常利益	300程度	200程度	100程度	△ 30程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	260程度	170程度	90程度	△ 10程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(△5.0%程度) 225程度	(△6.1%程度) 223程度	2程度	△ 12程度

[寒波および新型コロナウイルス感染症の影響] 小売販売電力量における、12月中旬以降の寒波による影響については、1億kWh程度、新型コロナウイルス感染症による影響については、足下の感染再拡大によるマイナス影響の懸念を反映し、△5億kWh程度(10月公表:△6億kWh程度)の影響があると見込んでいます。

[前年の高圧検針日変更による影響] 高圧の一部お客さまの検針日を変更したことにより、前年度の小売販売電力量が増加したため、2020年度は、前年度に比べ△7億kWh程度の影響があると見込んでいます。

【主要諸元】

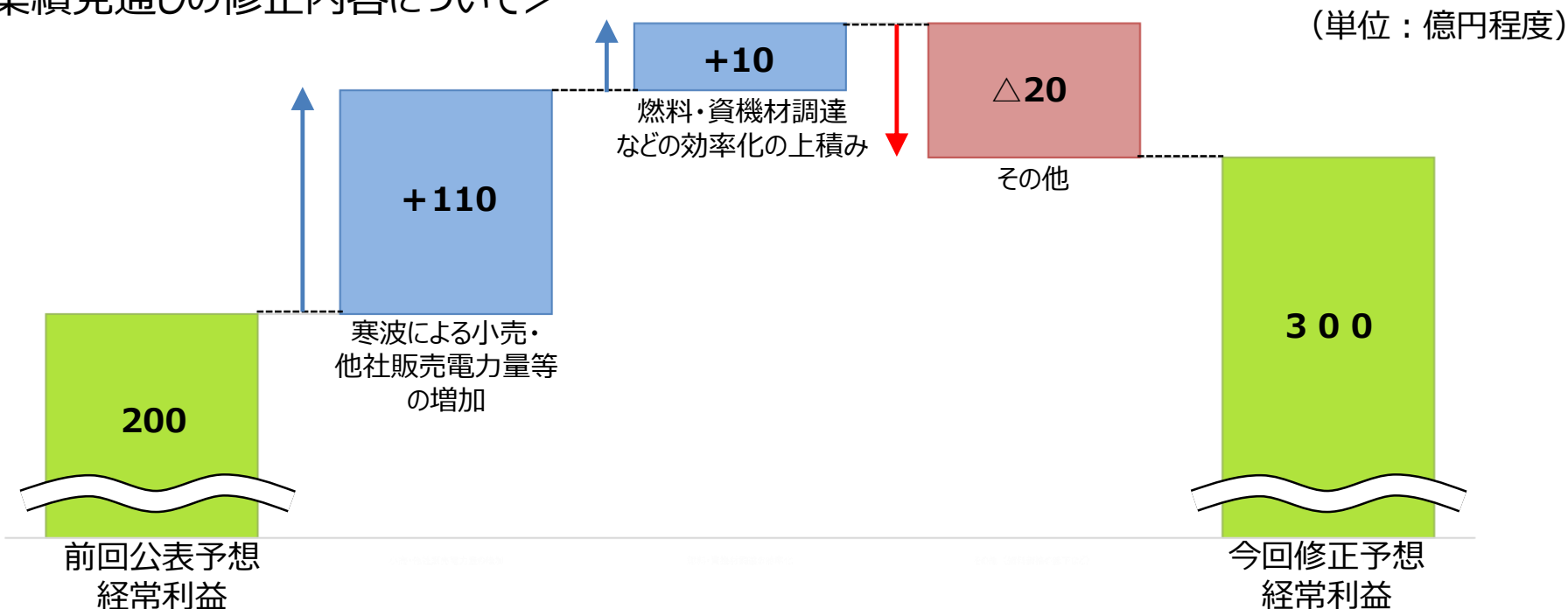
為替レート (円 / \$)	106程度	106程度	同程度	△ 3程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	42.0程度	43.0程度	△1.0程度	△25.8程度

※1月以降、為替レートは105円/\$程度、原油CIF価格は50\$/bl程度として想定しております。(前回の想定から変更なし)

2020年度 連結業績見通しの修正概要

小売販売電力量	12月中旬以降の寒波の影響などから、 前回予想に比べ2億kWh程度増加の225億kWh程度となる見込みです。
売上高	12月中旬以降の寒波の影響による小売販売電力量や他社への販売電力量の増加などにより、 前回予想に比べ170億円程度増加の7,190億円程度となる見通しです。
経常利益	12月中旬以降の寒波の影響による小売販売電力量や他社への販売電力量の増加などから、 前回予想に比べ100億円程度増加の300億円程度となる見通しです。

<業績見通しの修正内容について>



■ 2020年度 配当予想

2020年度の期末配当予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました、普通株式は1株当たり5円、B種優先株式は定款の定めに従い1株当たり1,500,000円から変更はありません。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2019年度 (実績)	5円	5円	10円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2020年度	5円	5円 (予想)	10円 (予想)	1,500,000円	1,500,000円 (予想)	3,000,000円 (予想)

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

業績見通し

- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常収益	営業収益(売上高)	5,105	5,251	△ 145	△ 2.8
	電気事業営業収益	4,829	4,986	△ 157	△ 3.2
	その他事業営業収益	276	265	11	4.3
	営業外収益	13	14	△ 0	△ 2.6
	合計	5,119	5,265	△ 146	△ 2.8
経常費用	営業費用	4,818	5,091	△ 273	△ 5.4
	電気事業営業費用	4,567	4,857	△ 290	△ 6.0
	その他事業営業費用	250	233	17	7.5
	営業外費用	91	95	△ 3	△ 4.2
	合計	4,909	5,186	△ 277	△ 5.3
[営業利益]		[287]	[160]	[127]	[79.5]
経常利益		210	79	131	165.4
渴水準備金引当又は取崩し		△ 4	△ 8	4	－
税金等調整前四半期純利益		214	88	126	143.3
法人税等		35	25	9	38.4
四半期純利益		178	62	116	187.1
非支配株主に帰属する四半期純利益		1	3	△ 1	△ 62.6
親会社株主に帰属する四半期純利益		177	59	118	200.4

(参考)	四半期包括利益	203	79	123	156.6
------	---------	-----	----	-----	-------

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株) ※	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG栈橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

※北海道電力ネットワーク(株)は、2020年4月1日に北海道電力(株)の一般送配電事業等を会社分割により承継し、同日付けで北海道電力送配電事業分割準備(株)から商号を変更いたしました。

- ・小売販売電力量は、お客さまニーズを捉えた営業活動の推進により当社に切り替えていただく高圧・特別高圧のお客さまが着実に増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響等による業務用需要のお客さまの稼働減および産業用需要のお客さまの生産減による減少影響などから、合計で15,644百万kWh、対前年伸び率△1.4%となりました。（新型コロナウイルス感染症による影響：△3億kWh程度）
- ・他社販売電力量は、新型コロナウイルス感染症の影響等はありませんでしたが、再生可能エネルギーの買取に伴う市場取引販売量が増加したことなどから、合計で2,517百万kWh、対前年伸び率15.0%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	6,036	6,215	△ 179	△ 2.9
		電 力	1,057	1,147	△ 90	△ 7.9
		計	7,093	7,362	△ 269	△ 3.7
	高圧・特別高圧		8,551	8,512	39	0.5
	計		15,644	15,874	△ 230	△ 1.4
他社販売電力量		2,517	2,190	327	15.0	
小売・他社販売電力量合計		18,161	18,064	97	0.5	

- ・ 泊発電所が全基停止していることに加え、出水率が89.9%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
自 社	(出水率%) 水 力	(89.9%) 2,800	(86.2%) 2,615	(3.7%) 185	7.1
	火 力	12,266	12,400	△ 134	△ 1.1
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	95	89	6	6.7
計		15,161	15,104	57	0.4
他 社		5,359	5,430	△ 71	△ 1.3
揚 水 用		△ 161	△ 184	23	△ 12.2
合 計		20,359	20,350	9	0.0

※他社には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	5,105	5,251	△145	△ 2.8		
電気事業営業収益	4,829	4,986	△157	△ 3.2		
2 社 合 計 (※)	電 灯 ・ 電 力 料	3,503	3,830	△327	△ 8.5	【減少要因】 ・小売販売電力量等の減少 ・燃料費調整制度の影響
	そ の 他	1,334	1,164	169	14.6	【増加要因】 ・再エネ特措法交付金の増加
	地帯間・他社販売 電力料(再掲)	239	249	△ 9	△ 4.0	【減少要因】 ・地帯間・他社販売電力料の減少
	託送収益(再掲)	267	271	△ 3	△ 1.4	・託送収益の減少
	子会社・連結修正	△ 8	△ 8	0	—	
その他事業営業収益	276	265	11	4.3		
営 業 外 収 益	13	14	△ 0	△ 2.6		
経 常 収 益	5,119	5,265	△146	△ 2.8		

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		4,567	4,857	△290	△ 6.0	
2 社 合 計	人 件 費	425	428	△ 3	△ 0.7	
	燃 料 費	577	838	△261	△31.1	【増加要因】 ・再生可能エネルギー買取増
	購 入 電 力 料	1,204	1,156	48	4.2	【減少要因】 ・小売・他社販売電力量の減少 ・燃料価格の低下 ・燃料調達などの効率化
	修 繕 費	516	573	△ 56	△ 9.9	・発電設備に係る修繕費の減少
	減 価 償 却 費	537	512	24	4.8	・新規取得設備の償却開始に伴う増加
	そ の 他 費 用	1,322	1,374	△ 51	△ 3.7	・固定資産税の減少 ・情報処理費用の減少
	子会社・連結修正	△ 17	△ 26	8	—	
その他事業営業費用		250	233	17	7.5	
営業外費用		91	95	△ 3	△ 4.2	
	支払利息（再掲）	79	84	△ 4	△ 5.3	
経常費用		4,909	5,186	△277	△ 5.3	
経常利益		210	79	131	165.4	

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は4,619億円となり、セグメント損益は新型コロナウイルス感染症の影響等による販売電力量の減少などはありませんでしたが、当第3四半期は修繕費の水準が低位にとどまったことなどから、248億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は1,763億円となり、セグメント損益は節電や省エネルギー意識の定着に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による電力需要の減少などもあり、60億円の経常損失となりました。

(単位：億円)

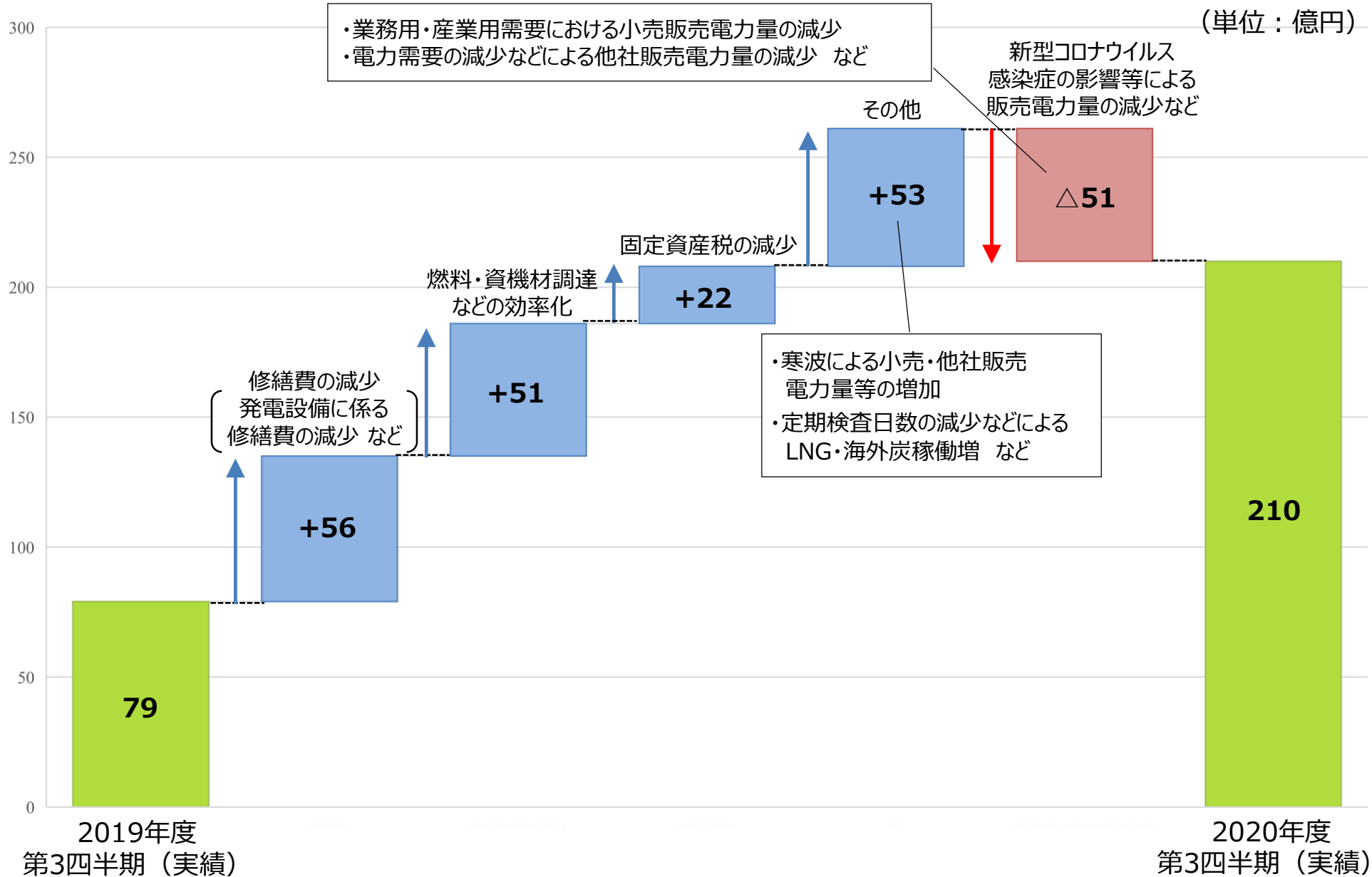
	当第3四半期 連結累計期間
売上高	5,105
北海道電力	4,619
北海道電力ネットワーク	1,763
その他 ※1	976
調整額 ※2	△ 2,253
セグメント損益（経常損益）	210
北海道電力	248
北海道電力ネットワーク	△ 60
その他 ※1	29
調整額 ※2	△ 7

※1 「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2 「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

(白紙)

第3四半期（連結決算）－経常利益の変動要因（対前年同期比較）



業績見通し（連結決算）－ 経常利益の変動要因（対前年度比較）

